

**上小阿仁村教育委員会**  
**点検・評価報告書**  
(令和元年度対象事業)

令和2年8月

**上小阿仁村教育委員会**

## 【参考】地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抄）

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

第26条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第1項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第3項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

## I 点検・評価の趣旨、実施方法等

### 1. 点検・評価の趣旨

上小阿仁村教育委員会では、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第26条の趣旨にのっとり、開かれた教育行政を推進するために、令和元年度事業について学識経験者の知見を活用した点検及び評価を実施し、報告書にまとめました。

この「点検・評価報告書」は、議会に提出するとともに、点検及び評価の内容に基づき、事業や施策の改善を図りながら、今後のより効率的で適正な事業の執行に資するものとしします。

### 2. 点検・評価の対象

令和元年度に実施している事業や施策のうち、教育委員会の年間活動状況と、総務学校班・生涯学習班の課題や目標として定めた事業について点検及び評価を行いました。

事業の選定にあたっては、活動内容の精選に努め、重点項目として点検・評価の対象としました。

### 3. 学識経験者の知見の活用

上小阿仁村教育委員会では、教育に関し学識経験を有する者の知見を活用するために、「上小阿仁村教育委員会評価委員会」を設置しており、点検及び評価の客観性の確保に努めています。

### 4. 点検・評価の実施方法

事業や施策の評価表に基づき、教育委員と事務局担当班等による事業や施策の検証と自己評価を実施するとともに、上小阿仁村教育委員会評価委員から意見及び評価をいただきました。

### 5. 「報告書」の作成計画

- ① 教育委員会に関する事務の点検及び評価の内容について協議
- ② 教育委員及び事務局担当班等による事業と施策に対する自己評価
- ③ 評価委員会において、意見・評価について協議
- ④ 評価委員会の意見・評価を加えて、「報告書」を作成
- ⑤ 教育委員会8月定例会で、「報告書」について議決
- ⑥ 「報告書」を9月議会へ提出

## II 点検・評価の結果

### 1. 教育委員会（教育委員会の点検・評価）

※ 達成度について

A（達成している） B（概ね達成している） C（達成していない）

◎ 教育委員会（教育委員に係わる内容）の年間活動状況			
活動内容－1	総合教育会議・教育委員会会議の開催	達成度	B
点検・評価 （課題等）	<p>《教育委員会会議》 月1回の定期開催により学校の近況を具体的に知ることができた。村内外の情報も詳細に報告され、委員間の共通理解も良好であり十分な話し合いがなされた。今後も月1回の開催の継続でよいと思われる。 タイムリーな現状の把握ができ、細かな説明もあり、質問等もしやすく有意義である。</p> <p>《総合教育会議》 村の教育環境について活発な意見交換がなされた。児童生徒の学力も良好であり評価できる。予算や予定の事業以外にも多くのことが話題として取り上げられ、会議が充実してきたように感じられる。 現行の年2回の開催及び内容で特に問題を感じない。</p>		
評価委員の 意見・評価等	<p>教育委員会会議については、委員間の共通理解も良好で、タイムリーな現状の把握ができたとのことであり評価できる。</p> <p>総合教育会議については、村の教育環境について活発な意見交換がなされ、会議が充実してきているとのことであり評価できる。</p>		
活動内容－2	教育大綱・教育行政全体構想の策定	達成度	A
点検・評価 （課題等）	<p>教育大綱が改められ、教育行政全体構想のもと本村が目標とする教育の達成に努めたい。</p> <p>児童生徒数の減少に配慮されている新しい教育大綱は、とてもよい目標になると思う。少しでも実現されるよう周りからの細やかなアプローチが必要になると思う。</p> <p>教育大綱と内容が重複しているので、教育行政全体構想は役目を終えたと思われる。</p>		
評価委員の 意見・評価等	<p>新しい教育大綱は、児童生徒数の減少に配慮されており、とても良い目標になるということなので、実現できるよう取り組んでいただきたい。</p>		

活動内容－ 3	教育環境の整備と学校支援の推進	達成度	A
点検・評価 (課題等)	<p>教育環境の整備は充実しており、対応も良好で子どもたちの学びを支えている。</p> <p>学校支援について、学校支援コーディネーターが活発で地域の方々の協力も良好でありいつも感謝している。ボランティアの方々も気持ちよく活動に参加して下さり、子どもたちの将来に大きな影響を与えてくれている。いろいろな方の話を聞ける子どもたちはとても幸せだと思う。</p> <p>ふるさと教育、キャリア教育に積極的に取り組み継続してもらいたい。今後もこの活動が続けていけるように、人材の確保、発掘がこれからの課題ではないかと思う。</p>		
評価委員の 意見・評価等	<p>教育環境の整備や学校支援については、充実しており評価できる。今後も継続して、充実に努めてほしい。</p>		
活動内容－ 4	上小阿仁村「教育集会」の開催	達成度	B
点検・評価 (課題等)	<p>村の教育関係者が集う貴重な機会であり、相互理解と親睦を深めることができる。年度初めは各関係者共に忙しい時期ではあるが、あまり各自に負担のかからない集会にして、教職員とのコミュニケーションを図るためにも継続していきたい。</p> <p>保育園の教育委員会への移管もあり、子どもたちの健やかな発育に向けて、先生方の考えや気持ちをひとつにするためにも必要かと思われる。</p> <p>学校と保護者とのつながりの希薄化を止める集会にもなってほしいと思う。</p>		
評価委員の 意見・評価等	<p>村の教育関係者が集う貴重な機会であり、教職員とのコミュニケーションを図るためにも必要な集会であるので、継続して開催してほしい。</p>		

活動内容－５	教育委員に係わる研修の充実	達成度	A
点検・評価 (課題等)	<p>全県、東北大会の研修に教育委員全員の参加を目標とし、研修することができた。東北大会では、大館・北秋田地区の教育委員間の交流会が計画され親交を深めるよい機会となった。</p> <p>東北大会の研修では、学校における働き方改革の推進について理解を深めることができ大変有意義なものであった。教育委員間の融和を図るよい機会となっている。</p> <p>毎年の文部科学省の話の難しさと時代の流れの早さに戸惑いはあるが、現状とのギャップを少しでも縮めることができるように、できることから取り組まなければいけないと思う。</p>		
評価委員の 意見・評価等	<p>全県、東北大会の研修に参加し、研修とともに他地区の教育委員と交流し、親交を深めたことは評価できる。</p> <p>今後も継続して研修に参加し、意識の向上を図ってほしい。</p>		
活動内容－６	学校訪問等による教育状況の掌握と激励	達成度	A
点検・評価 (課題等)	<p>前期と後期、年２回の訪問で校内の環境整備が良好であることと、児童生徒の確実な成長を実感できた。学校評議員を交えての話し合いも活発で充実した内容となった。</p> <p>子どもたちが自分で考え行動する力を持てるように、学校が工夫している様子が随所に見られ、少しずつ成長していることを頼もしく思えた。更なるステップアップを見続けるためにも継続していきたいと思う。できれば休み時間の様子も見てみたい。</p> <p>学校訪問や学校行事では、児童生徒の様子や活動を間近に見て、その成長ぶりを実感することができた。特にこあに発表会では、発表力の高さに感心するとともに、発表に対する活発な質問や感想交流にも意欲を感じた。感想の内容に深まりが出てくれば更により発表会になると思う。</p>		
評価委員の 意見・評価等	<p>学校訪問等によって、学校現場の状況や子どもたちの状況を見ることは必要であり、今後も継続して実施してほしい。</p>		

## 2. 学 校 教 育（学校と事務局担当班の点検・評価）

※ 達成度について

A（達成している） B（概ね達成している） C（達成していない）

(事業名)『特色ある教育活動』の推進			
活動内容－1	郷土芸能の伝承活動（小3～中3）	達成度	A
点検・評価 （課題等）	<p>今年度から小3から中3までの参加に変更した。71名が「小沢田駒踊り」「大林獅子踊り」「八木沢番楽」に取り組んだ。7月3日から学校祭当日の10月5日まで、全7回の練習に、毎回地域の方々が来校して教えてくださった。児童生徒も一生懸命に活動する姿が見られた。中学生へのアンケートでは、この活動（「村を知る」活動）を通して上小阿仁のよさを感じ取ることができたと肯定的な回答をした生徒がほとんど（97%）となっている。他校には見られない特色のある活動となっており今後も継続していきたい。生徒からは、「村の伝統的な素晴らしいものをしっかり引き継ぎたい」「村のよさを改めて感じた」などの感想があった。</p> <p>指導者の減少や高齢化、保護者世代の参加の不足が課題となっている。保護者世代にも参加を促し、活動の維持に努めたい。</p>		
評価委員の 意見・評価等	<p>対象学年を増やしながら、活動を通して、村のよさを感じ取ることができていて成果がみられる。課題である保護者世代への参加を強く促して欲しい。</p>		
活動内容－2	農園・花壇活動（全校児童生徒）	達成度	A
点検・評価 （課題等）	<p>今年度も、小学生は学年毎や縦割り班毎に、学校農園や学校田(清水博司氏所有)での農作物の栽培、稲作に取り組んだ。学校農園では、各学年とも生活科や理科、総合的な学習の時間（こあに学習）に関連する作物を栽培した。村の特産物であるほおずきをはじめ、舞茸、サツマイモなどがなべっこ活動や給食で提供され、全校児童生徒が収穫の喜びを味わうことができた。稲作は、田植えから稲刈り、きりたんぼ作りまで学習し、こあに発表会では5年生が「たんぼの学習」として発表した。いずれの活動も地域ボランティアから指導を受け、充実した学習をすることができた。中学生は、「地域の方々が訪問したときに喜んでもらえるような花壇をつくる」という思いをもって花壇活動に取り組んだ。年間を通して、村を知り多くの人と関わりながら心を豊かに育む重要な活動のひとつとして大きな成果をあげることができたといえる。</p>		

評価委員の 意見・評価等	工夫しながら地域貢献へと活動内容を高めるとともに、心を豊かに育むねらいも達成できている。		
活動内容－3	海辺の町宿泊体験学習（小4～小6）	達成度	A
点検・評価 （課題等）	<p>○4～5年生 八峰町での宿泊体験学習（1泊2日） 「あきた白神体験センター」でのシーカヤックや海水浴、漁師の料理体験等、村では体験できない貴重な海の活動を行うことができた。メニューに変化をもたせるため、今年度は留山散策を加えて活動した。次年度も、2年間の繰り返しの中でも螺旋的に活動内容を高めていくことができるよう配慮していく。</p> <p>○6年生 函館修学旅行（2泊3日） 函館での自然や文化遺産に触れる学習と北海道ならではの体験活動を行った。北海道の雄大な自然や友達との触れ合いを通して、自然の尊さを学び、他を思いやる心と態度を育むことができた。また、こゝに学習のまとめとして制作・持参した村のガイドブックの配布・PR活動が活発に行われ、村を外から見直す機会とともに村のよさを県外に発信する機会となった。今年度はとくに、同じ宿泊場所に2連泊をすることによって、体験活動や村のPR活動に十分な時間を取り内容を充実させることができた。</p>		
評価委員の 意見・評価等	連泊や、村では体験できない活動を行うなどの内容を充実させ、こゝに学習のまとめとしての成果もみられる。		
活動内容－4	小学校本物体験・芸術鑑賞（小1～小6）	達成度	A
点検・評価 （課題等）	<p>○小学校本物体験 大森山動物園でのいのちを感じる体験活動・職業学習 小1～6 秋田市の大森山動物園で全校児童によるいのちを感じる体験活動及び職業学習を実施した。動物園で多種多様な動物を実際に見たり関わったりする体験を通し、本物の迫力や魅力を知り、動物への興味関心や愛護の気持ちを育むことができた。また、高学年は、ふるさとキャリア教育として動物園で働く飼育員へのインタビューを行い、働くことの大切さや役割を知るとともに、命を育てる職業に興味をもつことができた。次年度は、男鹿水族館での体験活動・職業学習を計画している。</p> <p>○芸術鑑賞教室 「夢弦会」による津軽三味線演奏、「NAMAHAGE 郷神楽」による和太鼓演奏を鑑賞した。児童が普段あまり触れることのない和楽器による演奏を鑑賞させることを通して、児童の感性を育てるとともに豊かな情操を養うことができた。</p>		



<p>評価委員の 意見・評価等</p>	<p>毎年、変化をもたせながら工夫を凝らした体験活動・職業学習が行われている。芸術鑑賞も同様であり、普段触れる機会のない貴重な体験をさせてほしい。</p>		
<p>活動内容－5</p>	<p>外から村を見る宿泊体験学習（中1～中2）</p>	<p>達成度</p>	<p>A</p>
<p>点検・評価 （課題等）</p>	<p>○中1 県庁所在地での宿泊体験学習 → 秋田市・男鹿市 秋田市「ルポールみずほ」に宿泊し、男鹿市と秋田市の施設の見学及び体験活動を実施した。なまはげ伝承館の見学や竿灯体験を通して、ふるさとについての新しい発見をした。また、県立博物館の見学を社会（縄文や弥生時代の暮らし）や理科の学習（化石や岩石）に生かすことができた。これらの活動を通して、上小阿仁村のよさや特徴を再発見するとともに、郷土に対する理解を深めさせることができた。</p> <p>○中2 近隣の県での宿泊体験学習 → 青森県弘前市・黒石市 今年度は、弘前市に加えて黒石市も見学地に加えた。弘前市では弘前大学を大学生の案内で見学し、質疑応答も活発に行って学生がどのような形で市の活性化に関わっているか学ぶことができた。班別自主研修では、弘前の観光や歴史、産業などを学ぶことができた。2日目は黒石市に行き、津軽伝承館で津軽塗りや皿の絵付けなどの体験学習を行った。こみせ通りではボランティアガイドに案内していただき、歴史や特徴などを学ぶことができた。市の財産を生かしながら活性化を図っている取り組みを学んだ。</p>		
<p>評価委員の 意見・評価等</p>	<p>宿泊体験も含めて、ねらいに沿った学習活動が展開されている。村のよさや特徴を再発見するとともに、他地域の活性化に学ぶ取組は村について考えるよい機会となっている</p>		

活動内容－6	中学生本物体験（中学生）	達成度	A
点検・評価 （課題等）	<p>○わらび座観劇鑑賞とワークショップ体験 生徒（37名）＋職員（11名）参加 10月29日（火）秋田芸術村・わらび劇場にて本物の舞台芸術に触れるとともに、インストラクターの指導によるワークショップを体験することで、コミュニケーション能力・表現力を高め、新しいことに挑戦しようとする意欲を育てることをねらいに活動した。少人数ながら距離感の近い、迫力あるミュージカル「秋田犬になりたくて」を観劇したあと、表現力向上と仲間作り体験活動（ワークショップ）を約90分行った。インストラクターによるワークショップでは、アイスブレイクから始まる体験活動に生徒がのびのびと表現し、自己肯定感の向上と仲間の大切さを学んだ。感想では夢を追いかけることの大切さ、ふるさとを大事にすること、友達との関係などを振り返り、感謝の思いをもつなど有意義なものとなった。わらび座へ全生徒の感想を送り、返信をもらってさらに感動する生徒もいた。</p>		
評価委員の 意見・評価等	事後の感想などから、ねらい以上の体験活動であったことが十分にうかがえる。		
活動内容－7	先輩に学ぶ集会（小5～小6）	達成度	B
点検・評価 （課題等）	<p>○先輩に学ぶ学習 「ココロの授業」（道徳）6年 今年度も、大館市のファミリーネットワーク代表の村岡昇氏を講師に、「ココロの授業」を3回にわたって実施。卒業を間近に控えた6年生の中学校生活に向かう意識や意欲を明るく前向きに高め、自他を大切にし、よりよく生きようとする心を育むことができた。 ○南沢の取組については、5年児童が取り組む予定であったが、双方の諸事情により実施しなかった。</p>		
評価委員の 意見・評価等	<p>三回にわたる道徳授業は効果的と思われる。 二年続けてできなかった「南沢の取組」については、今一度見直しをもった計画による実現を期待したい。</p>		

活動内容－ 8	先輩に学ぶ集会（中学生）	達成度	A
点検・評価 （課題等）	<p>今年度も昨年度と同様、本校卒業生である秋田北鷹高校の3年生1名、大館鳳鳴高校の3年生1名に来ていただいた。パネルディスカッション形式で、初めに二人から自己紹介と現在の高校生活についてお話を伺い、その後、フロアとの質疑応答を行った。</p> <p>多くの生徒たちが挙手し、学習、部活動、行事、高校生活、進路など多岐にわたって質問した。また、受験勉強に関する悩みを相談してアドバイスをいただいたり、志望校を決めた時期や理由などを尋ねたり、身近な先輩だからこそ、受験や高校生活、通学か下宿か、など現実的な質問もできたと思うし、高校生の二人も誠実に答えていたので学ぶことの多い、充実した集会となった。</p> <p>また、高校説明会を同日に開催した。本校生徒の進路希望調査をもとに上位3つの高校（秋田北鷹高校、大館鳳鳴高校、大館国際情報学院高校）の先生からお話を伺った。高校の先生達は、自校の説明の他に「高校の求める生徒像は何か」「高校で何をどう学ぶか」「高校で自分の進路希望先に必要なスキルをどうやって身に付けるか」など、生徒自身が自分で自分の進路を切り拓く姿勢を教えていただき、とても有意義な時間となった。</p> <p>社会人講師を招いて行う講演会は気象予報士の渡辺博栄氏に依頼した。今年度は産業文化祭の学習発表会の最後に行ったが、日程調整などかなりの無理があったので、来年度は中学校単独での講演会に戻したいと考えている。</p> <p>来年度の講師については現在、未定である。</p>		
評価委員の 意見・評価等	<p>先輩の姿から学び、自己の進路選択を考えるよい機会となっている。</p> <p>高校説明会における自校の説明以外に、高校教員から自己の進路を切り拓く姿勢を学んだことも大きい。</p>		
活動内容－ 9	イングリッシュキャンプ（中学生）	達成度	A
点検・評価 （課題等）	<p>7月5日から一泊二日で行った。今年度は各学年が単独でALTの授業を受けられるようにし、なおかつ講師であるALTの負担が過度にならないように時間割を改善した。その結果、生徒からALTの先生たちに情報を発信し、やりとりする機会を増やすことができた。また異文化交流では、ALTの出身地の文化や言語を学んだり、生徒たちがALTに日本文化を教えたりすることができた。学年ごとに、自分たちで紹介したい日本文化を決め、どう伝えるかを考えたことでよりよいプレゼンテーションにしようと創意工夫し、努力することができた。当日は日本語を介さず、お互いに理解し合う喜びを実感することができ、またお互いの文化を尊重し合う貴重な機会となった。</p>		

	<p>本事業への取り組みについては、今年度も英語科が中心になって計画立案し、全職員で準備や当日の運営に協力した。生徒の活躍する姿を学年部の教師たちも共有できて有意義であった。</p> <p>生徒の「振り返り」を読むと、本事業のねらいである生徒の英語力向上と異文化交流は十分に達成されたと考える。講師のALTたちからも今回のプログラムや生徒の活動に対して高い評価をいただいた。今後も、授業で行っている活動とイングリッシュキャンプでの活動を結び付け、さらに事後の授業にもつなげて生徒の学習意欲を高めていきたい。</p>		
評価委員の 意見・評価等	前年度の課題を踏まえ、工夫しながら活動内容を充実させ、ねらいを達成することができている。		
活動内容－10	インターナショナルデー（小学生）	達成度	A
点検・評価 （課題等）	<p>第2回目となったインターナショナルデーは、今年度も、非常に充実した内容となった。1年生から6年生までの各学級にALT等が1名ずつ関わることによって、発達段階に応じたオールイングリッシュの活動が楽しく行われ、児童の世界の国々や外国語への関心が大いに高まった。来年度から5・6年生の外国語、3・4年生の外国語活動が完全実施となることから、大変意義ある学習である。全校児童が参加してのインターナショナルデーは内容や教材教具をさらに充実させながら、次年度以降も継続したい。</p>		
評価委員の 意見・評価等	中学生のイングリッシュキャンプ同様、二回目も充実した内容となり、来年度以降も大いに期待がもてる。		

（事業名） 学校支援地域本部事業			
活 動 内 容	地域の人材活用と教育活動・交流の充実	達成度	A
点検・評価 （課題等）	<p>○支援事業に対する理解の深まりと支援内容の充実 今年度も、のべ百名以上にのぼる学校支援ボランティアによる様々な教育活動支援（学習支援・環境整備支援・登下校安全指導・体験交流活動）が実施され、多大な協力を得ている。地域コーディネーターとの連携がその機能を十分果たしており、長年の実績に支えられた活動により、地域や保護者・支援ボランティアに事業の目的や実施している内容が理解され、ねらいに応じて支援内容を工夫するなど事業に対する理解の深まりと支援内容の充実が図られ、成果を上げることができた。</p> <p>○支援内容の拡充 地域人材を活用した日常の教科の授業支援や、全校での取組等、</p>		

	支援内容の拡充を図ることができた。とくに今年度は中学生の職場体験活動での拡充が大きい。活動内容を広げていくことで、ふるさとへの愛着や誇りを高め、次年度の学習や地域貢献への思いを膨らませるよい機会となっている。今後も地域・保護者と一体になった活動内容の一層の充実を更に図っていきたい。
評価委員の 意見・評価等	地域コーディネーターとの連携が十分に機能を果たし、ねらいが達成できている。引き続き支援内容の充実と拡充に努めてほしい。

(事業名) 学校生活サポート事業			
活 動 内 容	生活サポート員の配置と指導の充実	達成度	A
点検・評価 (課題等)	<p>児童の学校生活支援のため、小学校に3人を配置した。子どもの実態に応じて、クラスの枠を超えて弾力的に子どもたちを支援することができ、学校生活の安定を図ることができた。</p> <p>特別な支援を必要とする児童については、児童のよさや個性をよりよく伸ばすために、サポート員と学級担任が連携しながら、効果的な支援を行ってきた。今年度は、さらにより支援に結び付くようにサポート員同士でサポートの仕方を学び合ったり情報交換し合ったりする場を定期的に設けるようにした。当該児童のみならず、配置学級全体において児童らが安心して学校生活を送ることができており、サポート員配置の成果が大きく表れている。</p>		
評価委員の 意見・評価等	特別な支援を必要とする児童のよさや個性をよりよく伸ばすことができている。今後も特別支援教育のより一層の充実を期待したい。		

(事業名) 外国青年招致事業			
活 動 内 容	NETやALTを活用した小・中学校の外国語活動や英語指導、国際理解教育等の充実	達成度	A
点検・評価 (課題等)	<p>小学校の外国語活動と中学校の英語において、母国語が英語であるNETの授業(TT)を受けることで、実際の英語の発音や学習活動に子どもたちが生き生きと意欲的に取り組んでいる。国際理解といった視点でも子どもたちにより影響を与えている。小学校1年生から外国語活動を母国語が英語であるNETやALTと継続して行い、小学校5年生からは新指導要領を先取りした外国語の授業を実践してきた。</p> <p>中学校においては、生徒たちが英語を聞いたり、話したりする量が圧倒的に多い。NET、ALT、英語教諭が協力し合って指導案</p>		

	<p>を考え、教材の準備を土台にしている。効果的なT Tをするために事前の準備「時間の確保」が課題だが、昨年度から3人体制になったことで、分担ができています。さらに、個別指導、少人数学習などT Tを生かした授業形態も改善されており、英語力は確実に向上している。県学習状況調査では県平均を大きく上回り、英語検定で準2級や3級を取得している生徒が多い。イングリッシュキャンプやインターナショナルデーにも貢献しているNET、ALTの存在無くして、この結果は得られないと考える。</p>
<p>評価委員の 意見・評価等</p>	<p>NETやALTの効果的活用による成果が十分に上がっている。引き続き英語力向上に努めてほしい。</p>

<p>(事業名) 低学年における指導者を要請した水泳指導の充実</p>			
<p>活 動 内 容</p>	<p>小学校1～3年生対象の水泳教室の開催</p>	<p>達成度</p>	<p>A</p>
<p>点検・評価 (課題等)</p>	<p>夏季休業日最初の2日間、小学校1～3年生の児童を対象に3名の指導者を要請して水泳指導の充実を図った。1年生7名、2年生7名(全員)、3年生4名、計18名の子どもたちが参加し、それぞれのレベルに合ったいい指導を受けることができた。子どもたちは、楽しみながら意欲的に取り組むことができ、基本的な泳ぎ方を身に付けるとともに他の泳ぎ方にも挑戦するなどの成果が見られた。</p>		
<p>評価委員の 意見・評価等</p>	<p>幼少期ほど専門的な指導が重要であることを踏まえ、いのちの教育の一環としても継続して行ってほしい。</p>		

(事業名) 校舎等改修補修工事業

活動内容	校舎の改修工事等による安全で快適な学習・生活環境の整備	達成度	B
点検・評価 (課題等)	<p>○未設置教室へのエアコン設置により、全教室が良い環境となった。</p> <p>○グラウンド用草刈り機を購入していただき、体育・部活動の効率的な運営ができた。</p> <p>○蜂の駆除や熊対策など安全確保の対応をその都度行っていただいた。</p> <p>○児童生徒や駐車スペースの安全確保のため体育館裏の桜の木を伐採してもらった。</p> <p>○音楽の授業中、DVD等の視聴が途中で切れてしまう。今年度届いた新アンプが支障の原因とわかり、2回の調整と1ヵ月ほど修理を要した。</p> <p>○カラーレーザープリンターや大型プリンターの修理の頻度が高く、修理をしながら使い、新年度への整備をお願いした。</p> <p>○体育館防火扉の自動化が必要と指導を受けている。</p> <p>○校内のストーブのメンテナンスが計画的に行われていないため、故障が起こる原因となった。</p> <p>○校舎・体育館つなぎ目の雨漏りの下の床面が、少々荒れてきているため修理を要する。</p> <p>○集会の暗幕効果や保温のため体育館窓・カーテンの整備を引き続きお願いしたい。</p> <p>年数の経過とともに不備にかかる修理と新規整備のどちらが効果的か、相談しながら安全確保を図りたい。</p>		
評価委員の 意見・評価等	<p>安全確保を第一優先に、危険箇所への緊急対応を行ってほしい。施設整備の充実が教育効果には欠かせないので、より安全で快適な学習・生活環境の点検・整備に努めてほしい。</p>		

### 3. 社会教育（社会教育委員と事務局担当班の点検・評価）

※ 達成度について

A（達成している） B（概ね達成している） C（達成していない）

(事業名) 青年活動の推進			
活動内容－1	公民館行事への中高校生・青年層の参加促進	達成度	A
点検・評価 (課題等)	<p>○太鼓フェス 2019 ○生涯学習発表会 ○八木沢番楽講座</p> <p>太鼓フェス 2019 は1 2月上旬の行事として定着してきており、鼓響メンバーを中心に、各太鼓団体がそれぞれの持ち味を生かした演奏で、多くの観客を魅了した。村内外の青年が集結した太鼓フェスは村に活力を与えてくれる貴重なイベントである。</p> <p>元気象予報士による講演会を生涯学習発表会当日に開催したことで、例年は全校合唱終了後に解散していた中学生が、一般の発表を鑑賞することが出来た。地域の大人が頑張っている姿を子どもたちが見ることと、大人が地域の子どものに見られることは双方にとって有益な時間であった。</p> <p>今年度は八木沢番楽に北秋田市民族芸能大会への出演依頼があり、保存会と中学生が協力して出演を果たした。学校での練習のほか、番楽講座として全6回練習を行い、当日は堂々とした演技で会場の観衆を魅了した。</p>		
評価委員の 意見・評価等	<p>太鼓フェスは定着してきており評価できる。</p> <p>生涯学習発表会当日の講演会の企画は評価できるので講師を充実させ、講演会・演奏会を継続してほしい。</p>		
活動内容－2	高校生・青年層対象の生涯学習ボランティア活動の推進	達成度	B
点検・評価 (課題等)	<p>○高校生インターンシップの受け入れ ○公民館事業でのボランティア募集</p> <p>当公民館へ高校生のインターンシップ希望が有り、公民館活動について体験していただいた。体験を通じて公民館事業への参加や、ボランティア活動への関心が高まることが期待できると思われる。</p> <p>クリスマス会とミニかまくらづくりについて近隣の高校へボランティア募集を行った。残念ながら申込は無かったが、今後も継続して呼びかけていくことが必要である。個別の声かけやSNSを利用した告知も視野に入れるとともに、ボランティア活動が参加者にとって有用感のある魅力的な内容となるよう工夫に努めたい。</p>		



評価委員の 意見・評価等	高校生インターンシップの受け入れは評価できる。 高校生ボランティアについては個別の呼びかけも必要と思われるので参加するキッカケを作してほしい。
-----------------	--

(事業名) 高齢化社会に対応した生涯学習の充実			
活動内容－ 1	主体的な活動を目指すかみこあに大学の充実	達成度	A
点検・評価 (課題等)	<p>○かみこあに大学</p> <p>〈内容〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 開講式、うた</li> <li>・ 防犯講話 (保育園)</li> <li>・ 保育園ミニ発表会</li> <li>・ 花札体験</li> <li>・ 小学校交流会 (昔遊び)</li> <li>・ 三大学学習交流会</li> <li>・ 書き初め体験学習</li> <li>・ 修了式、移動研修</li> </ul> <p>開講式では芸能公演部会の鈴木繁雄氏を講師に、文部省唱歌や昔懐かしい歌謡曲などを全員で歌い、年度初めの学習を楽しくスタートした。恒例の小学校交流会や保育発表会鑑賞など、子どもたちと触れあう事業は好評であり、今後も継続予定である。</p> <p>新たな試みとして1月に新春書き初め体験学習を企画したところ、学生の皆さまに好評であり、毎月学びたいとの意欲的な意見もあった。次年度以降も学びのニーズに応えられるような大学運営に努めたい。</p> <p>大学登録者は数名の新規申込があったものの、全体として依然少数であるため、引き続き参加を呼びかける必要がある。</p>		
評価委員の 意見・評価等	継続事業、新しい試みの事業等受講生のニーズにあった学習は評価できるものである。		
活動内容－ 2	豊かな体験や知識・技術・特技を生かす場の拡充	達成度	A
点検・評価 (課題等)	<p>○クリスマスケーキづくり教室</p> <p>○クリスマス会</p> <p>12月のクリスマスケーキづくり教室は、スイーツコンシェルジュの資格を持つ伊藤きみ子氏を講師に開催した。一般を対象に開催し、意欲的にケーキづくりを学ぶことが出来た。参加者からは再び別のお菓子作りにも挑戦したいとの要望もあったため、次年度以降の検討事項とする。</p> <p>小学生対象のクリスマス会は村食生活改善推進員協議会との共催で開催した。参加した子どもたちへ調理実習や会食を通して、共食の大切さや栄養バランスの重要性などを伝え、全員でクリスマスを楽しむことができた。</p>		
評価委員の 意見・評価等	これらの事業は評価できるので、内容を工夫しながら継続実施していただきたい。		

(事業名) 学社連携・協働の充実			
活 動 内 容	世代間交流事業の推進	達成度	A
点検・評価 (課題等)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○かみこあに大学の小学校交流会</li> <li>○体育の日記念行事</li> <li>○ミニかまくらづくり</li> </ul> <p>かみこあに大学の小学校交流会では昔遊びを通じて小学校1・2年生と交流を深めた。地域の高齢者が先生役となり、主体的に子どもへ関わることの出来る世代間交流活動となっている。</p> <p>体育の日記念行事は親子での参加や地域の高齢者の参加もあり、幅広い世代がスポーツを通じて交流出来た。特にウォーキングやスカットボールなどは年齢性別を問わずに楽しむことが出来るため、参加者からも好評である。</p> <p>今後も文化やスポーツを通じた世代間交流の推進を図りたい。</p>		
評価委員の 意見・評価等	小学校交流会の昔遊びは貴重な体験であり失われつつある遊びでもあるので今後も実施していただきたい。		

(事業名) 生涯読書の充実			
活 動 内 容	読書の推進や読み聞かせの機会充実	達成度	A
点検・評価 (課題等)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○図書館イベントの開催（人形劇、リサイクル本）</li> <li>○保健師との連携による地域での読み聞かせ（回想法）</li> <li>○ブックスタート事業</li> </ul> <p>生涯学習週間に図書館イベントとして、秋田市の読み聞かせボランティアによる人形劇を開催した。親子で気軽に図書館に訪れていただけるよう館内に人形劇ステージを設けて実施した。</p> <p>また、今年度の新たな取り組みとして家庭にある不要本のリサイクル受付をスタートし、最初は役場職員が持ち寄った本をリサイクル本として設置した。一定の需要があったため、広報等を通じて住民にリサイクル本の提供を呼びかけたところ、わずかではあるが本が提供され、リサイクル本コーナーに設置されている。本をシェアすることで、本の有効活用と読書推進に役立てたい。</p> <p>ブックスタート事業については2年目の実施であり、今年度は7組の親子へ絵本の読み聞かせと絵本の贈呈を行った。絵本を通じた触れあいを体験していただく事業であり、読書推進の効果も期待される。昨年同様、読み聞かせボランティアに協力していただくとともに、図書館司書も事業へ参加することで、保護者が図書館に足を運びやすい環境づくりを目指した。</p>		

評価委員の 意見・評価等	<p>リサイクル本はいいアイデアだと思った。</p> <p>保健師と連携した、各集落での健康教室での読み聞かせボランティアは評価でき、継続していただきたい。</p> <p>図書館に足を運びやすい工夫をお願いしたい。</p>
-----------------	---

(事業名) 生涯学習推進体制の充実			
活動内容－1	各種委員（社会教育委員・生涯学習奨励員等）の役割の明確化と活動の充実	達成度	A
点検・評価 (課題等)	<p>○芸能公演部会による自主事業</p> <p>○文芸美術部会による作品展示</p> <p>○社会教育委員による事業評価</p> <p>芸能まつりに加え、今年度は芸能公演部会が主管となった民謡イベントを新たに企画・開催した。本村に縁のある佐々木深里さんの民謡、地元サークルによる日本舞踊、県外団体による漫談が融合し、多くの観客に笑顔と感動を与えた。</p> <p>文芸美術部会委員には生涯学習週間における作品展示に全面的にご協力いただき、パッチワークや写真、山野草など各分野ごとに担当していただいた。</p> <p>社会教育委員には事業全般について評価をしていただき、次年度の事業に向けたご意見を頂戴している。令和2年度は秋田県で東北地区社会教育研究大会が開催予定であり、村社会教育委員のご協力が必要になると思われる。</p>		
評価委員の 意見・評価等	各種委員の積極的活動は評価したい。		
活動内容－2	高校生海外研修事業の実施	達成度	C
点検・評価 (課題等)	参加希望者が少なく定員（3名）に達しなかったため中止となりました。		
評価委員の 意見・評価等	高校生で今後も実施可能か再検討が必要と思われます。海外研修事業を実施するのであれば中学生の参加も検討していただきたい。		

(事業名) 人材の発掘と積極的な活用

活動内容－1	新たな地域人材の発掘と活用（学校支援ボランティア等）	達成度	A
点検・評価 （課題等）	<p>○書き初め体験学習（かみこあに大学） ○公民館講座の講師募集</p> <p>かみこあに大学の新春書き初め体験学習では、自宅で書道教室を開設している山田垂希子氏に講師を依頼し、大学生が書き初め体験をすることができた。</p> <p>上記のように村内で特技や技能を持っている方はまだいると思われるため、新たな人材の発掘に向け、広報に公民館講座の講師募集を掲載している。公民館講座の開催要望と並行して募集を続け、学びたい人のニーズと教えたい人の熱意を生かした講座開催に努めたい。</p>		
評価委員の 意見・評価等	<p>村内の人材活用は評価できる。 講師募集だけではなく、要望講座を募集し、それに添った講師を発掘したり、推薦していただきたい。</p>		
活動内容－2	サークル活動の学習成果を生かす場の拡充	達成度	A
点検・評価 （課題等）	<p>○上小阿仁絵手紙展 ○民謡イベントの開催 ○かみこあに太鼓フェス 2019</p> <p>生涯学習センターにおいて村の絵手紙サークルによる絵手紙展を開催することが出来た。講師の遠藤先生による指導をいただきながら、これまでの作品の集大成を展示し、多くの方に鑑賞していただいた。</p> <p>今年開催した民謡イベントでは、民謡歌手の佐々木深里さんを中心にした構成にしつつ、村内で活動する日本舞踊団体にも参加してもらい、サークルの出演機会を確保した。</p> <p>4回目となる太鼓フェス 2019 は、村外からの出演団体が前回と同様の顔ぶれであったが、鼓響が日ごろ太鼓指導をしている総合型クラブスマイルにも出演いただいた。出演した子どもたちは初のステージ発表に緊張しながらも真剣に太鼓を叩き、観客から温かいご声援と拍手をいただいた。</p>		
評価委員の 意見・評価等	<p>各サークルの発表の場を設けることは、学習意欲にもつながり大いに評価できる。</p>		

(事業名) 伝統文化・伝統芸能の継承

活動内容－1	公民館・地域・学校等の連携による郷土芸能継承活動の充実	達成度	A
点検・評価 (課題等)	<p>○小中学校での継承活動</p> <p>○八木沢番楽講座</p> <p>学校で積極的に郷土芸能継承活動に取り組んでおり、地元保存会の皆さんにも指導協力をいただくことができた。小学生のうちから郷土芸能に関わることで地域愛や郷土愛の醸成につながる。ふるさとフェスティバルや学校祭等、活躍の機会も多く、子どもたちの継承活動は充実している。</p> <p>八木沢番楽については北秋田市からの出演依頼もあったため、学校での練習のほか、公民館講座として八木沢番楽の練習機会を確保し、意欲のある小中学生に参加いただいた。</p> <p>八木沢番楽講座については年度当初に村外を含む一般を対象に参加申込を募ったところ、村外から3名の申込をいただくことができた。残念ながら3名共仕事等の都合により練習会の実現には至らなかったが、今後八木沢番楽保存会とも連携しながら、番楽の継承に向けて活動を継続したい。</p>		
評価委員の 意見・評価等	郷土芸能の継承は地域とつながった活動であり郷土愛となりうるので、継承活動を継続させていっていただきたい。		
活動内容－2	郷土資料の収集と活用の充実	達成度	A
点検・評価 (課題等)	<p>○郷土資料室の整備、利活用</p> <p>郷土資料室を訪れた人が、本村の歴史や遺跡、民俗について理解を深めることが出来るよう郷土資料部会の委員によって適宜整備されている。小学校の授業や武蔵野大学の活動にも利用されており、部会委員が資料等の説明をすることで効果的な学習活動が行われている。</p>		
評価委員の 意見・評価等	<p>村の歴史を知るうえでも貴重であり、資料等の説明を委員が行っているのは評価できる。</p> <p>何年かに一度はテーマを決めた展示等もお願いします。</p>		

(事業名) 生涯スポーツ等による健康づくり

活動内容－１	スポーツ団体等の育成・支援	達成度	A
点検・評価 (課題等)	<p>○スポーツ少年団への助成（指導者経費）</p> <p>○ヨガサークル</p> <p>○トレーニングルームの整備</p> <p>スポーツ少年団指導者負担を軽減させるため、助成金を支給し支援をしている。野球は団員の減少により今年度はチーム編成が出来なかったが、指導者の見守りにより自主練習を継続させている。</p> <p>ヨガサークルについてはチャレンジデーでの教室開催をきっかけに、有志によるサークル活動が継続されている。</p> <p>トレーニングセンターのトレーニングルームには今年度クロストレーナーを導入し、現在計４台のマシンが整備されている。夜間や冬期間のトレーニングに活用できるため、多くの方に利用していただけるよう、スポーツ団体等を通じて働きかけをしたい。</p>		
評価委員の 意見・評価等	<p>スポーツ少年団への助成、指導者の見守りによる自主練習は評価したい。トレーニングセンターのマシンの活用、利用について広報をお願いしたい。</p>		
活動内容－２	各種社会体育関連行事の開催（総合型クラブ事業を含む）	達成度	A
点検・評価 (課題等)	<p>○チャレンジデー 2019 in 上小阿仁（５月２９日）</p> <p>今年度は対戦相手の自治体に勝利し、通算成績を２勝４敗とした。参加率も６５％以上を達成しており、住民の健康づくりのきっかけとして引き続き取り組みたい。</p> <p>○総合型クラブスマイル活動</p> <p>年間を通じてグラウンドゴルフ、卓球を中心に様々な種目のスポーツ活動が取り入れられ、村社会体育事業の中心的役割を果たしている。</p> <p>五城目上小阿仁間駅伝競走大会が終了したことから、今後お互いの総合型クラブ同士が交流することも視野に入れ、活動を計画中である。</p>		
評価委員の 意見・評価等	<p>総合型クラブスマイルは定着しており、村のスポーツ活動の中心的存在であり評価できる。</p>		